



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場会社名 アキレス株式会社  
コード番号 5142 URL <http://www.achilles.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 守  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長兼経営企画本部長 (氏名) 藤澤 稔

TEL 03-5540-9848

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	40,863	3.9	665	△29.4	1,035	△5.9	627	128.0
25年3月期第2四半期	39,344	△1.0	942	9.6	1,100	6.8	275	△47.7

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,132百万円 (598.3%) 25年3月期第2四半期 162百万円 (△60.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	3.37	—
25年3月期第2四半期	1.46	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	72,740	41,356	56.9	223.42
25年3月期	71,854	40,972	57.0	219.55

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 41,356百万円 25年3月期 40,972百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00	3.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	84,000	2.9	2,200	18.6	2,500	△5.8	1,500	5.3	8.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

通期連結業績予想の変更はありませんが、自己株式数の変動に伴い、1株当たり当期純利益を変更しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	190,627,147 株	25年3月期	190,627,147 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	5,520,140 株	25年3月期	4,003,773 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	186,395,616 株	25年3月期2Q	188,940,897 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を行っております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、国内は震災復興需要による景気の下支えと金融緩和や各種経済政策の効果から回復傾向にありましたが、海外では新興国経済の成長鈍化や米国の財政政策の混乱等により不透明な情勢で推移しました。また円安と混乱する中東情勢による影響は原油及び原材料価格やエネルギーコストの高騰と輸入製品の値上がりをまねき楽観できない状況にありました。

このような事業環境の下、当社グループは企業価値の増大を目指して、ブランド商品の育成と拡販、独自技術を活かした新商品開発、新規顧客の開拓、グローバル展開の推進に加え、徹底したコストダウンに取り組んでまいりました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高 40,863 百万円(前年同四半期比 3.9%増)、営業利益 665 百万円(前年同四半期比 29.4%減)、経常利益 1,035 百万円(前年同四半期比 5.9%減)、四半期純利益 627 百万円(前年同四半期比 128.0%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### <シューズ事業>

ジュニアスポーツシューズのトップブランド「瞬足」は、主力のランニングカテゴリーに、野生動物をモチーフとした「エスチーター」及び、アクションスポーツに対応する男児向けの「瞬足エクストリーマーズ」を投入し好評を得ましたが、前年に大きな注目を集めた「瞬足ダンス」が、市場で一巡化したこと等により前年売上を下回りました。高機能スーパークッション「ソルボ」を搭載した「アキレス・ソルボ」は、婦人向け新商品が順調に推移したに加え、昨年より発売した「■●▲Designs(フォートゥースリーデザインズ)」も好評を得て、前年売上を上回りました。

シューズ事業の当第2四半期連結累計期間の業績は売上高8,720百万円(前年同四半期比1.3%減)、セグメント利益(営業利益)は297百万円(前年同四半期比49.1%減)となりました。

#### <プラスチック事業>

車体内装用資材は、ラミネート製品の拡販及び、中国、欧米メーカー向けの受注が堅調に推移し、前年売上を上回りました。

フィルムは、一般用は堅調に推移しましたが、海外向け工業用で在庫調整の影響があり前年売上を下回りました。農業用は新規受注などがあり好調に推移し、国内事業全体では前年売上を上回りました。北米事業は医療用が好調に推移し、前年売上を上回りました。

建装資材の床材・壁材は、堅調な新設住宅着工を背景に、新築及びリフォーム需要が高まり、前年売上を上回りました。

引布商品は、前年実績の、防災対策品であるテント関係の特需がなかったことから、前年売上を下回りました。

プラスチック事業の当第2四半期連結累計期間の業績は売上高 18,876 百万円(前年同四半期比 7.1%増)、セグメント利益(営業利益)は 626 百万円(前年同四半期比 4.5%増)となりました。

### <産業資材事業>

ウレタンは、車輛用が好調に推移したことに加え、インテリア製品の洗えるシリーズ「エアロンムマック」も好調を維持し、前年売上を上回りました。

断熱資材は、ボード製品が戸建分野向けの製品を中心に拡販が図れ、パネル製品は簡易ハウス向け・畜産向けが好調に推移、スチレン製品も鋳造用途などで拡販が図れ、前年売上を上回りました。

静電気対策品は、国内ユーザー向けは苦戦したものの、海外ユーザーの開拓による販売拡大や、タイの子会社再稼働の影響により、前年売上を上回りました。

産業資材事業の当第2四半期連結累計期間の業績は売上高 13,266 百万円(前年同四半期比 3.0%増)、セグメント利益(営業利益)は 802 百万円(前年同四半期比 13.6%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は 72,740 百万円で前連結会計年度末に比較して 886 百万円増加しました。

資産の部では、流動資産は 46,108 百万円となり前連結会計年度末に比較して 521 百万円増加しました。これは主に、たな卸資産が 1,144 百万円、現金及び預金が 707 百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が 1,110 百万円減少したことによります。固定資産は 26,632 百万円となり前連結会計年度末に比較して 364 百万円増加しました。これは主に、投資その他の資産が 396 百万円増加したことによります。

負債の部では、流動負債は 22,509 百万円となり前連結会計年度末に比較して 609 百万円増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金が 612 百万円増加したことによります。固定負債は 8,875 百万円となり前連結会計年度末に比較して 106 百万円減少しました。これは主に、退職給付引当金が 108 百万円減少したことによります。

純資産の部は 41,356 百万円となり、前連結会計年度末に比較して 383 百万円増加しました。これは主に、為替換算調整勘定が 757 百万円増加しましたが、繰延ヘッジ損益が 293 百万円減少したことによります。以上の結果、自己資本比率は 56.9%となりました。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は 8,704 百万円(前連結会計年度末比 707 百万円増加)となりました。

営業活動の結果、増加した資金は 1,906 百万円(前年同四半期比 534 百万円収入減)となりました。これは主に、売上債権の減少 1,409 百万円、減価償却費 1,234 百万円、税金等調整前四半期純利益 1,052 百万円による収入と、たな卸資産の増加 949 百万円、その他資産の増加 510 百万円、法人税等の支払額 377 百万円の支出によるものであります。

投資活動の結果、減少した資金は 707 百万円(前年同四半期比 2 百万円支出減)となりました。これは主に固定資産の取得による支出 814 百万円によるものであります。

財務活動の結果、減少した資金は 680 百万円(前年同四半期比 305 百万円支出増)となりました。これは主に配当金の支払額 559 百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月10日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,999	8,707
受取手形及び売掛金	25,351	24,241
商品及び製品	7,158	8,179
仕掛品	1,262	1,470
原材料及び貯蔵品	1,960	1,875
繰延税金資産	592	801
その他	1,352	909
貸倒引当金	△89	△76
流動資産合計	45,586	46,108
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,389	7,258
機械装置及び運搬具(純額)	4,768	4,652
土地	5,285	5,295
建設仮勘定	20	72
その他(純額)	379	367
有形固定資産合計	17,844	17,646
無形固定資産	523	689
投資その他の資産		
投資有価証券	4,016	4,138
繰延税金資産	2,708	2,504
その他	1,254	1,726
貸倒引当金	△78	△71
投資その他の資産合計	7,900	8,296
固定資産合計	26,268	26,632
資産合計	71,854	72,740

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,035	13,648
短期借入金	2,256	2,325
未払金	2,954	3,007
未払法人税等	276	191
資産除去債務	10	10
その他	3,365	3,326
流動負債合計	21,900	22,509
固定負債		
長期借入金	3,000	3,000
長期未払金	23	20
繰延税金負債	472	477
退職給付引当金	5,238	5,130
資産除去債務	229	229
P C B廃棄物処理引当金	17	17
固定負債合計	8,981	8,875
負債合計	30,881	31,384
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	14,640	14,640
資本剰余金	10,708	10,708
利益剰余金	15,543	15,611
自己株式	△532	△722
株主資本合計	40,359	40,238
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,237	1,277
繰延ヘッジ損益	290	△2
為替換算調整勘定	△914	△156
その他の包括利益累計額合計	612	1,118
純資産合計	40,972	41,356
負債純資産合計	71,854	72,740



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	39,344	40,863
売上原価	31,136	32,804
売上総利益	8,208	8,059
販売費及び一般管理費	7,265	7,393
営業利益	942	665
営業外収益		
受取利息及び配当金	40	41
その他	188	377
営業外収益合計	229	418
営業外費用		
支払利息	31	32
その他	40	15
営業外費用合計	72	48
経常利益	1,100	1,035
特別利益		
固定資産売却益	1	33
国庫補助金	2	—
保険差益	0	0
投資有価証券売却益	—	5
特別利益合計	4	39
特別損失		
減損損失	204	—
固定資産除却損	31	22
投資有価証券評価損	11	—
特別損失合計	247	22
税金等調整前四半期純利益	857	1,052
法人税、住民税及び事業税	190	263
法人税等調整額	391	160
法人税等合計	581	424
少数株主損益調整前四半期純利益	275	627
四半期純利益	275	627

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	275	627
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△48	40
繰延ヘッジ損益	△140	△293
為替換算調整勘定	71	627
持分法適用会社に対する持分相当額	5	129
その他の包括利益合計	△113	505
四半期包括利益	162	1,132
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	162	1,132
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	857	1,052
減価償却費	1,273	1,234
減損損失	204	—
のれん償却額	16	16
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△85	△19
受取利息及び受取配当金	△40	△41
支払利息	31	32
為替差損益 (△は益)	△16	△160
持分法による投資損益 (△は益)	△25	△86
固定資産除売却損益 (△は益)	30	△10
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△5
投資有価証券評価損益 (△は益)	11	—
保険差益	△0	△0
補助金収入	△2	—
売上債権の増減額 (△は増加)	2,340	1,409
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△336	△949
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,086	460
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△67	△86
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△188	△108
その他の資産の増減額 (△は増加)	11	△510
その他の負債の増減額 (△は減少)	△216	△84
小計	2,709	2,144
利息及び配当金の受取額	89	171
利息の支払額	△30	△31
保険金の受取額	0	0
補助金の受取額	2	—
法人税等の支払額	△330	△377
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,441	1,906
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	74	0
固定資産の取得による支出	△888	△814
固定資産の売却による収入	1	49
投資有価証券の取得による支出	△17	△17
投資有価証券の売却による収入	—	5
貸付金の回収による収入	120	70
投資活動によるキャッシュ・フロー	△709	△707

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	192	68
自己株式の取得による支出	△1	△189
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△566	△559
財務活動によるキャッシュ・フロー	△374	△680
現金及び現金同等物に係る換算差額	11	189
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,368	707
現金及び現金同等物の期首残高	5,914	7,997
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,283	8,704

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	8,839	17,627	12,877	39,344	—	39,344
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	88	265	354	△354	—
計	8,839	17,715	13,143	39,699	△354	39,344
セグメント利益	583	600	929	2,113	△1,170	942

(注)1. セグメント利益の調整額△1,170百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「産業資材事業」セグメントにおいて、中国子会社の固定資産について、市場環境の著しい悪化により受注が減少し早期の回復が見込まれないため、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては204百万円であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	8,720	18,876	13,266	40,863	—	40,863
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	80	229	310	△310	—
計	8,720	18,957	13,496	41,174	△310	40,863
セグメント利益	297	626	802	1,727	△1,061	665

(注)1. セグメント利益の調整額△1,061百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。